

あいち農産物生産流通レポート

令和2年10月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・ とよた五平餅の魅力発信！～とよた五平餅学会の取り組み～（豊田加茂農林水産事務所）	1
◎ 東日本情報	
・ 令和元年度京浜市場での愛知県秋冬野菜の販売結果及び提言(その3)（東京事務所）	2
◎ 西日本情報	
・ 愛知県産 新ブランド米「愛ひとつぶ」のデビューについて（園芸農産課）	4
・ あいちのフルーツコンテストを開催！（園芸農産課）	5
～愛知県No.1の「ぶどう」「いちじく」を決定～	
・ 愛知のふるさと食品コンテストを開催しました（食育消費流通課）	7
◎ フラワーページ	
・ パワーアップした「おもてなし花壇」をご覧ください！（園芸農産課）	9
・ 熊本の花（JA熊本経済連東京事務所）	10
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	13
・ 名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し	14
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の10月の見通し(県内市場)	26

※今月、「地域トピックス」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

とよた五平餅の魅力発信！～とよた五平餅学会の取り組み～

豊田加茂農林水産事務所

豊田市内には30店舗以上の五平餅販売店があり、足助や下山など地域それぞれの味、形、特徴があります。豊田市内の五平餅販売店等をメンバーとする、とよた五平餅学会では、五平餅発祥の地は豊田市内と考え、「とよたで生まれ、とよたで育った、とよたの郷土食」として、五平餅を通じて豊田の魅力を発信していますので、活動について御紹介します。

1 とよた五平餅街道としてPR活動

2018年に食と花の街道認定事業で、「とよた五平餅街道」として認定され、愛知県Web ページにて街道を紹介しています。効果的な街道PR活動のために認定街道を対象としたオンライン研修会への参加等、新型コロナウイルス感染症対策の中でのSNSを活用した魅力発信に取り組んでいます。

◇食と花の街道事業Web ページアドレス：

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-shinko/kaidou-top.html>



知事公館で五平餅街道をPR



親子五平餅づくり体験

2 とよた五平餅学会の取り組み

(1) 親子五平餅づくり体験

親子で地元の食材及び郷土食を学ぶことを目的として、味噌の学習や学芸員による講話及び実習を行っています。

(2) 五平餅マイスター養成講座の開催

イベントや自分の店で五平餅を販売したい方を対象とした五平餅づくり実習及び販売実習後に五平餅学会が定める講座講習試験を行い、とよた五平餅マイスターを認定しています。

(3) 大学生に対する五平餅づくり体験講習・文化祭で監修

大学生を対象に五平餅づくり体験学習の講師派遣や器具等の貸し出しなどを行い、大学祭での学生による五平餅づくりをサポートしています。

(4) 食育活動・地産地消の推進

地元の小学校と中学校で連携授業として、2013年度から五平餅講話と五平餅づくり体験を行っています。

(5) 各種イベントでの五平餅販売

とよたラグビーフェスタ、学会主催のイベント等で五平餅を販売しています。



五平餅マイスター養成講座



小学校にて食育活動

【とよた五平餅街道とは】

とよたで生まれ、とよたで育った郷土食の「五平餅」。

御幣型やひょうたん型などお店独自の形や、味噌・醤油・胡桃・きなこ等豊富なたれの味をお楽しみください。

お店毎の食べ比べも楽しいので、是非お越しください。

◇とよた五平餅街道 HP アドレス：<http://www.toyota-go-hey.jp/>



イベントで五平餅販売

令和元年度京浜市場での愛知県秋冬野菜の販売結果及び提言（その3）

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

「京浜市場愛知県野菜連絡会」（構成：首都圏の青果卸売会社 30 社及び J A あいち経済連、愛知県）がとりまとめた令和元年度（対象期間：令和元年 6 月～令和 2 年 5 月）の愛知県産主要野菜の販売概要から、今回は、ふき、おおば、さやえんどう（スナップえんどう）について取り上げます。

1 ふき

（1）競合産地の動向

群馬県は作付面積 27.5ha（前年比 92%）。

4 月上旬からハウス物の出荷が始まった。温暖な気候から前進傾向の出荷となったが、その後、朝晩の冷え込みにより落ち着いた。露地物は 5 月の連休後に出揃い、中旬にピークを迎えた。作付面積、生産者数の減少のため販売期間は短く、出荷量は前年を若干下回った。

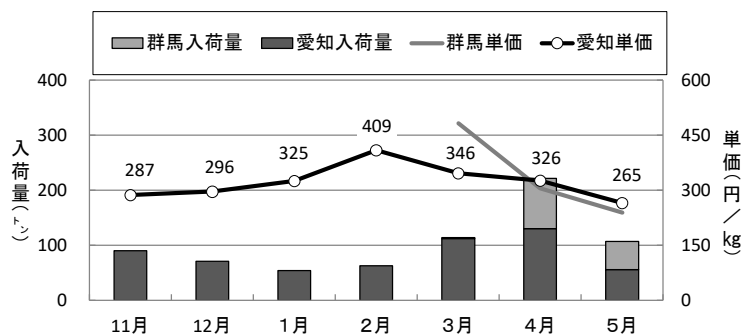


図1 ふきの産地別入荷量と単価の推移

（出典：東京都中央卸売市場年報、以下の図同じ）
※群馬の11月～2月の入荷量は0kg

（2）販売・消費動向

タケノコの出回りが昨年より多く、セット販売を推進したが、ふきの出荷数量は伸びなかった。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、業務の引合いは厳しかったが、量販店、特に家庭内消費は上向いた。春商材としての期待は大きく、家庭料理に取り込んでもらう機会になったと思う。旬を意識しながら、販売先と次年度の販売について組み立てていきたい。

（3）卸売会社から愛知県への提言

ジェットパック（簡易包装）とラップ包装での販売に取り組み、市場としては省力化による出荷量増加を期待したが、それには至っていない印象。また、生産者の減少が進んでおり市場としても危惧している。京浜市場としては、愛知県はメイン産地として重要な出荷元であることから、数量の安定化に産地と市場が一体となって取り組みたい。

2 おおば

（1）競合産地の動向

茨城県産は、昨年と変わらない入荷状況だったが、価格の低迷が長く続いたこともあり、おおばから薬物類の栽培に変えた生産者が出始めた。そのため 5 月以降から入

荷量が減り始め、市場からの注文に対して満足に答えられない状態が続いている。大分県産は約 1,000 ケース/日で、ほとんど変化はないが、関東に向けた出荷はほとんどなくなり、九州地区をメインに関西市場までの出荷になっている。

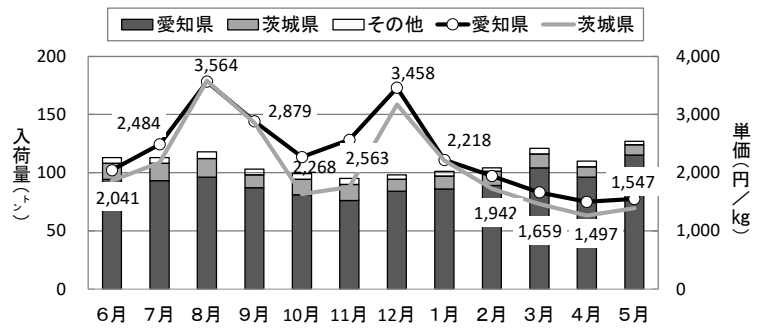


図2 おおばの産地別入荷量と単価の推移

高知県産は、ほぼ変化はないと聞いているが、単価が安いので少しずつ減り始めているとも聞く。中国産は順調で 1,000~1,200 ケース/日まで増えていると思われる。一時期よりも増えていることは間違いなく、今後も注意が必要である。

(2) 販売・消費動向

新型コロナウイルス感染症の影響で3月に入る頃に業務関係の注文がなくなって以降は量販店中心の販売となり、鮮魚関係も順調で、その後の感染拡大以降も、単価安ではあるが順調な販売状況が続いている。また、新たに、おおばを中心につまもの類を使い始めている鮮魚関係も出てきているので、価格の提案など、産地と相談しながら進めていきたいと思う。

(3) 卸売会社から愛知県への提言

愛知県全体で生産量が増える中、厳しい販売状況は今後も続くと思う。中国産対策を含め、柔軟な販売対応など販売先の確保に向けた努力をしてもらいたく、市場も協力していく。

3 さやえんどう (スナップえんどう)

(1) 競合産地の動向

鹿児島県産、長崎県産ともに作付面積、出荷総数はほぼ横ばいとなっている。鹿児島県産は前半に大幅な増加となったが2月から減少した。長崎県産はハウス栽培が主となるため、例年と大きな差異はなかった。

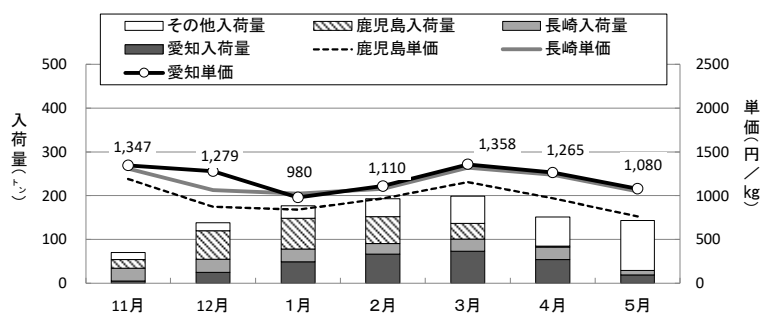


図3 さやえんどうの産地別入荷量と単価の推移

(2) 販売・消費動向

主に 100~150 g /袋での販売となっている。冬期~春期の需要は高い。量販店での継続的な売り場づくりが重要で、安定的な供給が望まれる。

(3) 卸売会社から愛知県への提言

数量の増減が売り場に大きく影響するため、できる限り正確な事前情報をお願いしたい。また、後期3月以降の品質クレーム（主にガク枯れ）が増加しているため、品質管理を徹底して欲しい。

愛知県産 新ブランド米「愛ひとつ」のデビューについて

園芸農産課

愛知県は、県内の大規模稲作経営者やJAあいち経済連などの農業団体とともに、『愛知123号』ブランド化推進協議会（以下、協議会）を2017年に設立しました。協議会では、農産物検査等級1等及び玄米蛋白質含量6.4%以下など良食味につながる独自の基準を満たした水稻「愛知123号（品種名：なつきらり）」を新たなブランド米「愛ひとつ」として販売することにしました。

本年度から生産者55名が県内全域の約50haで本格栽培を始めており、協議会は9月26日（土）からの「愛ひとつ」の販売開始に合わせて報道機関を対象としたデビュー発表会を開催しました。

1 「愛ひとつ」の特徴

「愛ひとつ」は、県農業総合試験場が高温耐性と良食味を併せ持つ水稻として開発しました。夏の高温による米の品質低下（米が白く濁る白未熟粒の発生）が少なく、外観が美しいのが特徴です。上品な甘みともっちりとした食感も特徴です。

2 デビュー発表会の開催

(1) 日時

2020年9月25日（金） 午前11時から正午まで

(2) 会場

料亭 河文（名古屋市中区）

(3) 主催

「愛知123号」ブランド化推進協議会

(4) 内容

ア ブランド名受賞者表彰

イ ビデオメッセージ上映

知事、LOVEあいちサポーターズ3組

ウ 「愛ひとつ」特徴・販売店等説明

(5) 取材報道機関

テレビ局6社（9月25日放映）、新聞2社（9月26日掲載）、業界紙など8社



知事はビデオメッセージで登場

3 「愛ひとつ」の販売

県内のスーパーなど約400店舗以上で年末までを目途に販売されます。

取扱予定店：Aコープ、ユニー、ヤマナカ、フィール、平和堂、JA直売所

なお、取扱店舗はスーパー等が決めています

販売予定量：ブランドマークの入った専用袋（2kg、5kg）により約3万袋を販売

あいちのフルーツコンテストを開催！ ～愛知県No.1の「ぶどう」「いちじく」を決定～

園芸農産課

愛知県は、JAあいち経済連及び愛知県果樹振興会と共催で、県産の「ぶどう」及び「いちじく」が旬を迎える8月から9月頃に、栽培技術の向上を目的として、「あいちのフルーツコンテスト」を毎年開催しています。

前身の「愛知県果実品質改善共進会」から通算42回目となる令和2年度あいちのフルーツコンテスト及びフェアを下記のとおり開催しました。

表 令和2年度あいちのフルーツコンテスト・フェア開催実績

品目	内容	月日(曜日)	会場
ぶどう	コンテスト	8月18日(火)	久屋大通公園フラリエ
	フェア		イオンスタイル豊田
いちじく	コンテスト	8月25日(火)	JAあいち中央総合センター内生活館
	フェア		イオン八事

1 あいちのぶどうコンテスト

「あいちのぶどうコンテスト」には、本県主力品種の「巨峰」を始め、「シャインマスカット」や「クイーンニーナ」など、生産者自慢のぶどう14品種105点が出品されました。

審査は、県農業総合試験場、JAあいち経済連等の農業技術者6名で行われ、果実の外観、糖度、食味を総合的に判断し、特選12点、入選13点を選出しました。最高賞の農林水産大臣賞には、東浦町で生産された「クイーンニーナ」が選ばれました。



ぶどうコンテストの様子

2 あいちのぶどうフェア

「あいちのぶどうフェア」では、コンテストに出品されたぶどうの即売を行いました。

販売開始時間の30分以上前から消費者が並ぶ盛況ぶりで、販売が始まると、色とりどりのぶどうから気に入った品を買い求めていました。

愛知県のぶどうの魅力を消費者に伝える良い機会となりました。



ぶどうフェアの様子

3 あいちのいちじくコンテスト

「あいちのいちじくコンテスト」には、本県主力品種の「榊井ドーフィン」184点、「サマーレッド」50点が出品されました。

審査は、県農業総合試験場、JAあいち経済連及び青果物市場等の関係者8名で行われ、果実の外観、糖度、食味を総合的に判断し、特選19点、入選51点を選出しました。最高賞の農林水産大臣賞には、碧南市で生産された「榊井ドーフィン」が選ばれました。



いちじくコンテストの様子

4 あいちのいちじくフェア

「あいちのいちじくフェア」では、コンテストに出品されたいちじくの販売を行いました。

2時間で、500パック余りのいちじくがほぼ完売となり、いちじくの人気の高さがうかがわれました。また、幅広い世代の方々に、いちじくの美味しさを知ってもらう良い機会となりました。



いちじくフェアの様子

5 今後の展開方向

「あいちのフルーツフェア」は、これまで別々に開催してきた果実品評会や関係団体の取組をひとつにまとめ、相互に連携することで、効果的に県産果実の消費拡大を図ることを目指しています。

愛知の果物が消費者にとって、より身近で魅力的なものとなるように、これからも取り組んでまいります。

愛知のふるさと食品コンテストを開催しました

食育消費流通課

愛知県では、県産農林水産物を活用した加工食品（＝ふるさと食品）の新たな需要を掘り起こし、農林水産物の生産振興に資するため、「愛知のふるさと食品コンテスト」を毎年開催しています。


本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、応募のあった 41 商品について事前に書類審査を行い、上位 5 商品について 9 月 8 日（火）に食味審査を実施しました。審査の結果、最優秀賞には篠島観光協会の『篠島 鯛のじゅうじゅうみそ焼』、優秀賞には日間賀島観光協会の『日間賀・海ソース』と宝酒造株式会社東海支社の『松竹梅 C R A F T 「夢吟香」 スパークリング清酒』が選定されました。

1 最優秀賞（愛知県知事賞）の概要

篠島 鯛のじゅうじゅうみそ焼は、篠島で一本釣りされた鯛と地元醸造所の豆味噌を使用しており、郷土料理であるじゅうじゅうみそを簡単に美味しく食べられるよう開発された商品です（表 1）。審査員からは「鯛一匹という贅沢さを感じられた」、「パッケージから企画コンセプトが伝わりやすい」などの講評がありました。この商品は、島の駅 SHINOJIMA やつくだ煮街道で購入できますので、ぜひ一度篠島へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

今回、最優秀賞に選定された篠島 鯛のじゅうじゅうみそ焼は、一般財団法人食品産業センターが主催する全国のコンクールに愛知県代表として推薦されます。

表 1 篠島 鯛のじゅうじゅうみそ焼の概要

名 称	篠島 鯛のじゅうじゅうみそ焼	
申請者	篠島観光協会	
製造開始日	2019 年 2 月 1 日	
価 格 (税別)	1,500 円/1 箱（鯛 1 匹）	
原材料	鯛、白醤油、じゅうじゅうみそダレ	
商品内容	<ul style="list-style-type: none"> ・篠島で一本釣りされた鯛を使用。 ・地元で愛されてきた郷土料理にスポットを当てた。 	
審査講評	<ul style="list-style-type: none"> ・調理は簡単で、鯛 1 匹という贅沢さを感じた。 ・郷土料理の味で、とてもおいしい。 ・お土産に使える。 	
備 考	<p>愛知県が開設した通販サイト「愛知県WEB物産展（あいちの『食と物産』マルシェ）」でも販売しています。</p> <p>(https://item.rakuten.co.jp/aichi-antenna/990040213/)</p>	

2 優秀賞（愛知食品産業振興協会会長賞、農業水産局長賞）の概要

優秀賞の2点としては、日間賀・海ソースが愛知食品産業振興協会会長賞に、松竹梅CRAFT「夢吟香」スパークリング清酒が農業水産局長賞に選定されました（表2）。

日間賀・海ソースは、日間賀島の特産物である白ミル貝、タコ、シラスを活用した商品で、一度干物にしてからオリーブオイルと合わせることで旨味が凝縮しています。アヒージョやパスタなど様々な料理に利用でき、常温保存可能なため、お土産にぴったりです。

松竹梅CRAFT「夢吟香」スパークリング清酒は、犬山市産や新城市産の酒米「夢吟香」を使用し、JA愛知北とJA愛知東、宝酒造株式会社が連携して開発した商品です。名古屋城内売店で購入することができます。数量限定ですのでお早めにお買い求めください。

表2 日間賀・海ソース、松竹梅CRAFT「夢吟香」スパークリング清酒の概要

賞	愛知食品産業振興協会会長賞	農業水産局長賞
		
名称	ひまか 日間賀・海ソース	松竹梅CRAFT「 ^{ゆめぎん} が 夢吟香」ス パークリング清酒
申請者	日間賀島観光協会	宝酒造株式会社 東海支社
製造開始日	2019年2月1日	2020年3月17日
価格 (税別)	800円/本(75g)	400円/本(280ml)
原材料	タコ、シラス、白ミル貝、オリーブオイル、にんにく他	米(国産)、米麴(国産米)
商品内容	・日間賀島の白ミル貝が持つ独特の風味を活かし、島のタコやシラスと一緒にオリーブオイルと合わせた。	・原料米に愛知県産の米「夢吟香」を100%使用したスパークリング清酒。しっかりとした味付けの愛知の郷土料理との相性がよい。
審査講評	・とても香りが良い。 ・タコやシラスの洋風ソースで風味豊か。	・すっきりとした味わい。 ・さわやかな香りでフルーティ。

パワーアップした「おもてなし花壇」をご覧ください！

園芸農産課

愛知県は、57年連続で花き生産日本一を誇る「花の王国」です。本県は関係団体と連携して、県民の皆様に「花の王国あいち」をPRするとともに、あいちの花を暮らしの中に取り入れていただく「花いっぱい県民運動」を展開しています。

この取組の一つとして、平成27年度から県庁本庁舎の玄関前に「おもてなし花壇」を設置し、本県産の花で飾っています。今年度からは、毎月花を植え替えることにより、常に見映えのする花壇へとパワーアップさせており、県民の皆様に癒しを感じていただくとともに、本県産の花の魅力を広くPRしています。

1 毎月植え替えてパワーアップ！

昨年度までは植え替えの回数が年3回程度でしたが、今年度は毎月花の種類を変え、デザインも新たにすることで、旬の花とデザインの変化を楽しんでいただけます。

2 花の種類と数量をパワーアップ！

昨年度までの花壇は、1回当たり約5種類の花を使用していましたが、今年度は約10種類と多種類の花を使用しています。また、大苗を使用し、花壇苗の数量を約1.5倍に増加したことで、ボリューム感が増し、植え替えた当日から見映えのする花壇となっています。

3 PRをパワーアップ！

本県産の高品質な花を県内外へ広くPRするため、愛知県庁の銘板前に「花の王国あいち」のシンボルマークを設置しました。また、ご覧いただく方々のために花のネームプレートも設置し、本県産の花をPRしています。

パワーアップした「おもてなし花壇」を多くの県民の皆様にご覧いただき、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込む気持ちを少しでも癒していただくとともに、本県の花の魅力を広くPRしていきます。



県庁本庁舎前玄関前の「おもてなし花壇」



プランター

熊本の花

J A熊本経済連東京事務所

熊本県は九州の中央に位置し、自然豊かな2つの国立公園を持ち、山あり海あり川あり、美しい自然豊かな景観に富んだ地形を持つのが特徴です。温暖な地域から、寒暖が激しい地域、標高が高い地域、それぞれの気候を生かした丁寧な花作りを行っています。

主に10月から6月までの冬春期における出荷が多く、令和元年産の作付面積は130ha、前年からの面積減少は1%に留まっています。

表1 令和元年産主要5品目作付け面積

トルコギキョウ	カスミソウ	菊	カラー	アリウム
21.1ha	44.6ha	22.4ha	3.7ha	2.3ha

1 JAグループくまもと花き部会

「JAグループくまもと花き部会」は、熊本県産花きの品目・地域の枠を越えた生産・販売に関する連携強化を進めるため、JAグループくまもと花きブランドの確立と消費拡大を目的として平成24年9月に設立しました。カスミソウ・トルコギキョウ・菊・カラー・アリウムを主要5品目として、それぞれに専門部会を設定し、研修会・会議・販促活動等を行っています。現在も産地結集のもと、花きの生産振興・発展に向けて挑戦を続けています(表1)。

近頃の取り組みとしては、平成30年度から令和元年度にかけては、カスミソウやトルコギキョウなど各専門部会で「現地意見交換会」を実施しました。各品目を扱う市場担当者を現地に招き、圃場の確認を行いながら様々な意見交換を行い、より良い花きの生産・販売に向けた取り組みとなりました。

さらに、現地では定期的な目揃い会を開催しています。県全体での品質向上を図る上で重要な取り組みとなっています。例えば、丹頂アリウムに独自技術で曲がりを加えた「くまもと踊る丹頂」は、その曲げ具合を生産者一同で厳しく確認し、ブランドの確立・向上に取り組んでいます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で需要が低迷した際には、いち早く部会一丸となって需要喚起に向け重点市場での展示会開催に取り組ましました。



全体研修会



現地意見交換会



展示会

2 消費地での活動

J Aグループくまもと花き部会を中心に、京浜地区で積極的な消費拡大活動を実行すべく、「熊本県花き研究会」（事務局：J A熊本経済連東京事務所）を設立しています。この会では、熊本県産花きを取り扱う市場と熊本県の各関係機関等との協調をはかりながら、その発展・振興に取り組んでいます。

近年では、文京区にある肥後細川庭園が主催する「ひごあかり」の開催にあわせ、庭園内の松聲閣で主要5品目の展示等を実施しました。二子玉川ライズギャラリーで行われた「くまもと赤マルシェ」では県産花きを販売しました。全国各地で行われたクラシック音楽のコンサート会場や、花をモチーフにしたプロジェクションマッピングで人気の FLOWERS BY NAKED では来場者へ花贈りを実施するなど、様々な場所で熊本県産花きを身近に感じてもらい、実際手にとっただけの機会を増やしています。また、熊本県営業部長である「くまモン」がInstagramやツイッター等でのPRも行ってくれています。熊本県産花きをご存知の方には深く知ってもらい、まだご存じない方には、色んなアプローチをしながら、ファン作りに取り組んでいます。



花贈り

今年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、9月現在は、結婚式などのイベント事は縮小傾向のままですが、このような時だからこそ、花の持つ魅力を最大限PRし、今後状況が改善されたときには尚一層のPRができるよう準備に取り組んでいます。

3 今後の取組みについて

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大きく需要低迷した4月、母の日を目前に花き産地はそれぞれ危機感を募らせました。そういった時に、全国産地が協力し主要品目を集めた合同展示会を大田市場で開催することができました。今までありそうで無かった取組みが実現しました。“きっかけ”は決して良いものではありませんでしたが、今後はより一層花きファンを拡大していくためにも、全国産地が手を取り合った取組みが大事ではないかと考えています。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下
 わずか : ±2%台
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
元年実績	386	234 (61%)	256	293	三重 (39%) — —
2年見通し	530	370	260	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
愛知及び三重からはほぼ全量を入荷する。昨年は11月の雹害で大きな被害を受け、出荷できない状況となった。今年は夏の高温・少雨の影響で小玉傾向にあり、日焼け果や果肉の軟化が懸念される。 愛知は豊橋中心で例年22～23万ケースを入荷するが、今年は19万ケースと減少する見通し。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年並となる見込み。			市場入荷量は年々減少傾向となっており、需要も縮小傾向であるが、販売維持のため、安定した出荷量の確保と計画的な出荷をお願いしたい。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
元年実績	1,232	1,001 (81%)	293	280	静岡 (17%) 岐阜 (0.7%) —
2年見通し	1,450	—	290	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
愛知中心に静岡などから入荷する。愛知の生育は長梅雨や8月の高温の影響が懸念され、雹害のあった前年よりは入荷多いも平年は下回る見込み。10月下旬ごろからの入荷のピークを見込む。 入荷量は少なかった前年を大幅に上回り価格は前年並となる見込み。			「りんご」「みかん」「なし」など競合する果実が豊富な時期にあたる。本年は果実が全体的に少ない環境だが、その分引き合いも強いので、安定した品質の「柿」を消費者に提供することが重要である。このため、選果選別を徹底するほか、産地の出荷動向などの的確な情報が求められる。		

名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

9月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	27年	38,706	216	234	216	192	北海道 38%
	28年	33,600	284	276	291	274	長野 24%
	29年	37,656	185	183	171	198	茨城 9%
	30年	37,787	234	246	227	223	群馬 7%
	元年	36,853	195	206	192	185	青森 5%
	5ヵ年平均	36,920	223	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	36,600	204	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、長野を中心に入荷する。北海道の根菜類は小玉傾向、前進傾向で切り上がり早い見通し。葉菜類は概ね生育順調。果菜類は産地の切り替わる品目が多く、前年の入荷量を下回る見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
だいこん	27年	2,469	95	106	106	80	青森 51%
	28年	1,784	168	156	172	181	北海道 21%
	29年	2,212	85	80	72	112	新潟 11%
	30年	2,662	105	117	93	113	岐阜 8%
	元年	2,152	84	92	79	86	愛知 5%
	5ヵ年平均	2,256	105	108	102	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,200	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森、北海道を中心に入荷する。青森は生育順調で11月末まで入荷の見込み。北海道は太物は少ないが作柄良好で10月中旬に切りあがるか。愛知は中旬から入荷する。サンマ不漁の影響で需要減が懸念される。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
にんじん	27年	2,735	119	126	122	115	北海道 97%
	28年	2,027	266	304	292	228	青森 3%
	29年	2,865	90	98	83	88	
	30年	2,262	203	210	207	194	
	元年	2,464	102	116	104	93	
	5ヵ年平均	2,471	148	155	156	139	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,200	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道を中心に、一部は青森からも入荷する。北海道は高温と干ばつの影響で小玉傾向にあり、入荷量は前年をかなり下回る見込み。前進傾向にあり、後続産地からの入荷が始まるまでは端境期となるか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

9月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	27年	142,190	237	258	242	214	北海道 27%
	28年	129,927	316	309	321	315	長野 15%
	29年	139,763	201	193	181	229	茨城 12%
	30年	134,292	264	271	258	263	群馬 11%
	元年	135,007	217	227	207	218	青森 7%
	5ヵ年平均	136,236	246	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	135,000	220	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
台風の大きな被害なく、9月は厳しい残暑ながら降雨あり生育順調。産地の切替わりは順調に進み不足感ない出回りが見込まれるも、一部品目では北海道、東北の切り上がり早まり一時期品薄となるか。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。							
だいこん	27年	14,255	86	104	89	68	青森 40%
	28年	12,467	149	144	151	150	北海道 32%
	29年	12,451	77	73	61	97	千葉 15%
	30年	12,365	98	107	89	100	岩手 4%
	元年	11,155	81	89	73	82	茨城 4%
	5ヵ年平均	12,539	98	104	93	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	11,000	85	85	80	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
青森、北海道からの入荷が中心となる。主力の青森、北海道が終盤を迎える中、一部では切り上がり早まる。後続の千葉からの入荷は早まり、端境期は限定的となる見込み。値動きは冷え込み次第。入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。							
にんじん	27年	9,125	116	120	117	111	北海道 92%
	28年	7,838	261	260	263	260	青森 7%
	29年	9,057	88	89	82	92	中国 1%
	30年	7,809	213	221	206	212	
	元年	8,306	108	112	110	104	
	5ヵ年平均	8,427	153	157	152	152	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	8,000	115	110	115	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道からの入荷がほとんどを占める。高温と少雨により細物傾向であったが、気温低下により肥大良好となり太物比率が改善。出荷前倒しの産地もあり、下旬の出回りは少なめか。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

9月17日現在

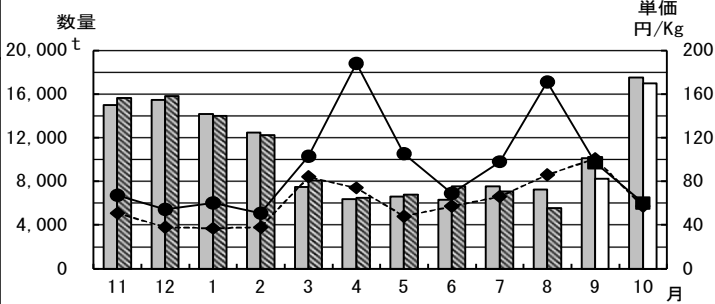
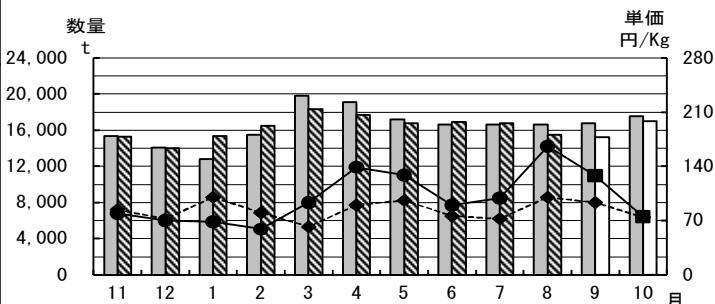
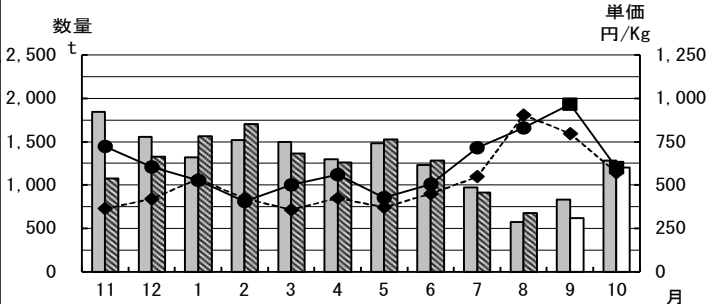
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	27年	3,787	85	92	113	69	長野 96%	
	28年	2,899	152	122	148	176	茨城 2%	
	29年	4,318	55	54	42	75	北海道 2%	
	30年	4,511	103	143	84	92		
	元年	4,765	57	65	51	56		
	5ヵ年平均	4,056	86	91	80	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	4,500	70	70	70	70		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に、茨城の早生系も始まる。長野は二期作中心で生育良好、増加傾向にある。後続産地の茨城も生育順調で、生産意欲が高く、順調な入荷を見込む。入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
	キヤベツ	27年	4,364	135	152	138	120	群馬 41%
28年		4,101	174	121	183	219	長野 26%	
29年		4,818	65	67	54	75	茨城 21%	
30年		4,924	92	94	81	107	北海道 7%	
元年		4,804	75	87	83	61	愛知 4%	
5ヵ年平均		4,602	106	102	106	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2年見通し		4,800	90	90	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、長野、茨城を中心に入荷する。各産地ともに生育順調だが、入荷量は前年を下回るか。愛知も今のところ順調で中旬からの入荷となるが、入荷量は前年を大幅に下回る見込み。入荷は今後の天候次第か。入荷量は前年並で、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						
ほうれんそう		27年	291	587	738	650	455	岐阜 72%
	28年	186	894	1,093	1,002	764	愛知 15%	
	29年	274	618	653	545	725	茨城 6%	
	30年	218	798	872	818	736	長野 3%	
	元年	268	668	679	632	687	群馬 2%	
	5ヵ年平均	247	695	756	694	653	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	250	700	800	700	600		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜を中心に、愛知、茨城などから入荷する。岐阜は高温期のは種であったため、発芽不良が多く、立ち枯れが見られる。入荷量は10月前半まで少ない見込み。愛知は上旬から入荷し、徐々に増量する見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

9月30日現在

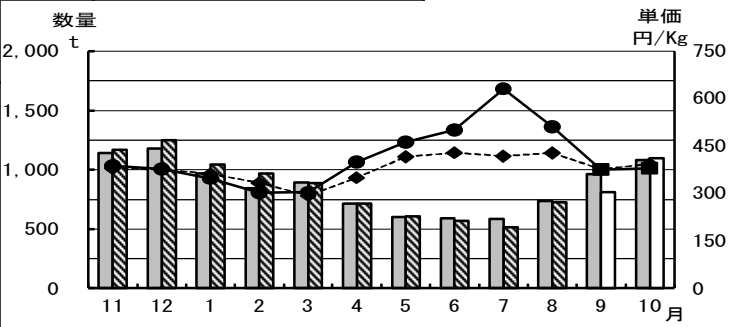
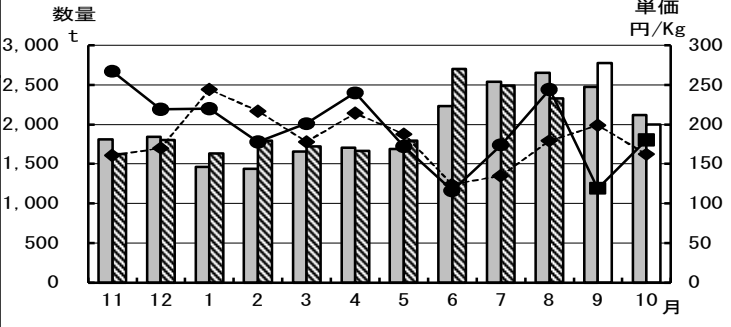
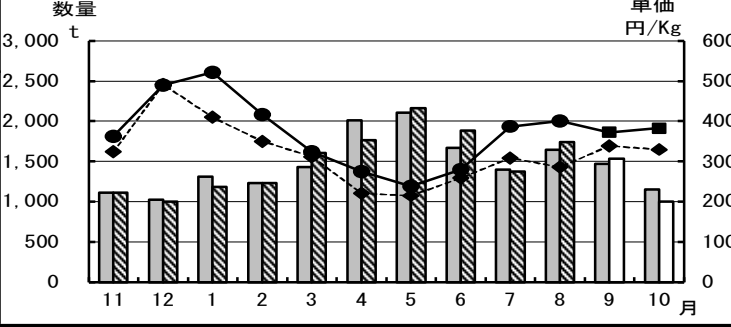
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	27年	14,551	85	88	108	64	長野 78%	
	28年	14,716	143	119	144	158	茨城 11%	
	29年	17,700	55	54	46	64	北海道 5%	
	30年	17,065	102	138	89	84	群馬 4%	
	元年	17,523	57	66	56	52	岩手 1%	
	5ヵ年平均	16,311	86	92	86	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	17,000	60	70	60	50		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に、茨城などからの入荷となる。長野は高温や干ばつの影響から回復し増量が見込まれる。後続の茨城は干ばつによる定植遅れのため出荷開始が遅れる懸念があるも生育は順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
	数量 単価 円/Kg							
								
キヤベツ	27年	16,805	137	162	141	108	群馬 54%	
	28年	16,686	166	114	174	205	千葉 14%	
	29年	18,246	56	59	48	63	岩手 11%	
	30年	18,240	87	87	77	98	茨城 11%	
	元年	17,568	74	82	78	63	長野 6%	
	5ヵ年平均	17,509	103	100	102	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	17,000	75	85	75	65		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬を中心とした関東産地、岩手などからの入荷となる。群馬、岩手とも小玉傾向が改善しつつあり、潤沢な入荷続く。中旬以降は生育良好な千葉、茨城も増量が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
	数量 単価 円/Kg							
								
ほうれんそう	27年	1,678	490	648	519	381	群馬 45%	
	28年	994	851	1,172	896	672	茨城 18%	
	29年	1,468	507	484	413	667	栃木 15%	
	30年	1,232	662	762	676	586	岩手 5%	
	元年	1,284	571	569	512	626	埼玉 3%	
	5ヵ年平均	1,331	595	696	580	573	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	1,200	600	700	600	500		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城、栃木などからの入荷となる。高温や干ばつの影響で9月までの入荷量は少なかったが、気温低下と降雨により生育順調となり増量する見込み。増量に伴う価格下落が懸念される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
	数量 単価 円/Kg							
								

名古屋市中央卸売市場

9月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	27年	1,315	352	408	372	306	北海道 48%
	28年	1,135	450	472	436	458	長野 23%
	29年	1,157	374	362	342	423	秋田 6%
	30年	1,147	471	515	480	435	富山 5%
	元年	1,083	394	394	396	395	中国 4%
	5ヵ年平均	1,167	407	425	405	399	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,100	380	380	380		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、長野を中心に各産地から入荷する。北海道は生育順調で概ね前年並の入荷を見込む。長野や富山は潤沢な入荷を見込むも、高温や干ばつの影響で一部品質低下が懸念される。全体的に若干遅れ気味か。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
しそ	27年	1,791	252	350	252	184	茨城 47%
	28年	1,480	421	593	431	318	長野 44%
	29年	1,981	145	105	105	254	兵庫 6%
	30年	2,073	207	219	198	203	愛知 1%
	元年	2,118	162	134	148	216	山梨 1%
	5ヵ年平均	1,889	226	234	214	233	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,000	180	180	180		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、茨城を中心に入荷する。終盤の長野は準高冷地からの入荷となり、入荷量は平年より少なめの見込み。茨城は生育順調で入荷ピークに入る。台風の影響がなければ順調な入荷を見込む。入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>					
きゅうり	27年	1,219	293	302	310	273	群馬 31%
	28年	880	545	441	703	494	長野 19%
	29年	929	377	250	258	894	山梨 12%
	30年	1,114	435	417	422	470	埼玉 9%
	元年	1,151	330	259	304	466	北海道 7%
	5ヵ年平均	1,059	388	325	388	471	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,000	383	350	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、山梨、長野などから入荷する。群馬、山梨の抑制作は気温低下や日照不足の影響で徐々に入荷減となる見込み。長野は増量した前年を大幅に下回る見通し。産地切り替わりの谷間で下旬は高値となるか。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

9月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	27年	6,248	324	385	344	256	青森 21%
	28年	5,873	428	485	424	394	秋田 19%
	29年	5,488	385	351	356	439	北海道 18%
	30年	5,703	467	549	472	408	山形 9%
	元年	5,596	379	370	386	380	茨城 6%
	5ヵ年平均	5,782	395	428	396	373	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	5,700	370	380	370	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、北海道などの東北以北産地からの入荷が中心となる。主力の東北各産地は生育順調で肥大も良好。稲刈り作業が終われば入荷量は伸びてくるため、中旬以降潤沢な入荷が続くと見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
し	27年	7,865	256	334	251	192	茨城 57%
	28年	6,556	398	512	409	301	長野 26%
	29年	8,710	122	90	88	212	栃木 5%
	30年	7,879	205	218	196	202	群馬 7%
	元年	8,139	148	123	134	191	岩手 1%
	5ヵ年平均	7,830	217	242	206	217	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	8,200	115	120	115	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に、長野などからの入荷となる。長野は終盤を迎えるも平年並の入荷量を見込む。茨城は生育順調で増量し、中旬以降はまとまった入荷となる。潤沢な入荷が続き、安値が続くと見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回り安値となる見込み。</p>					
きゅう	27年	6,601	264	269	276	250	群馬 26%
	28年	5,312	497	407	612	457	埼玉 26%
	29年	5,432	333	230	242	634	福島 14%
	30年	5,788	403	376	400	437	茨城 10%
	元年	6,119	311	235	292	440	宮城 4%
	5ヵ年平均	5,850	356	301	359	436	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	5,900	350	330	370	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、埼玉などの関東産地、福島などの東南北部産地からの入荷となる。関東産地は概ね生育順調で入荷は安定。東北各産地は草勢低下により切り上がり早まり、中旬以降に相場は上がるか。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

9月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	27年	645	359	356	395	344	熊本 34%
	28年	678	370	379	342	393	愛知 32%
	29年	636	283	293	238	360	山梨 16%
	30年	479	466	435	497	474	徳島 11%
	元年	740	318	308	301	357	群馬 2%
	5ヵ年平均	636	353	344	340	382	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	650	363	350	360	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本、山梨などから入荷する。徳島、山梨の夏秋作は終盤で、品質低下が懸念される。中旬以降は後続産地の愛知、熊本からの入荷が徐々に増える見込み。台風の影響がなければ順調な入荷の予想。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ト マ ト	27年	1,117	463	472	519	423	岐阜 42%
	28年	1,032	549	490	523	649	愛知 20%
	29年	1,185	401	418	405	384	北海道 13%
	30年	1,002	482	505	434	513	熊本 10%
	元年	1,145	449	588	399	373	三重 7%
	5ヵ年平均	1,096	466	494	453	454	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,100	450	450	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜、愛知、北海道などから入荷する。岐阜の夏秋作の入荷は平年並で、北海道は終盤となる。今後入荷する愛知、熊本は8月の高温の影響で、着果不良や果実の軟化等による品質低下が懸念される。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	27年	404	913	985	910	879	北海道 49%
	28年	362	1,051	1,031	1,007	1,132	愛知 22%
	29年	470	816	832	809	811	熊本 18%
	30年	458	909	934	933	866	長野 4%
	元年	503	889	1,013	918	707	茨城 3%
	5ヵ年平均	439	909	951	915	859	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	440	900	900	900	900	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に愛知、熊本などから入荷する。北海道の夏秋作は前進出荷のため、10月の残量は少ない見込み。愛知は9月下旬、熊本は10月中旬より入荷するが、入荷量は前年をかなり下回ると予想される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

9月30日現在

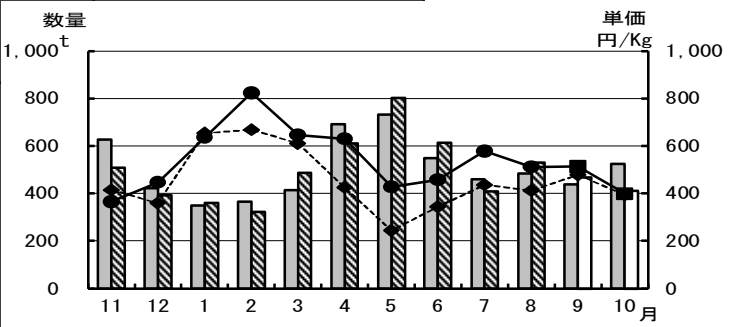
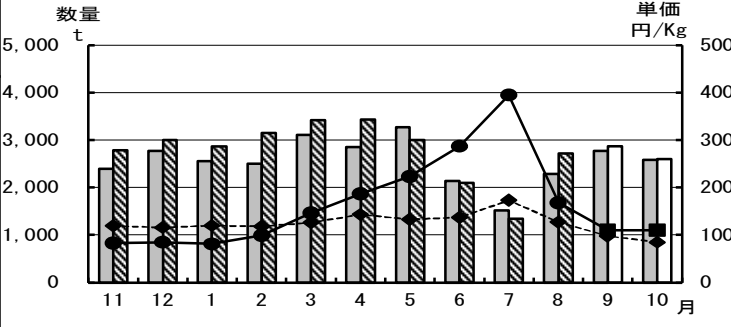
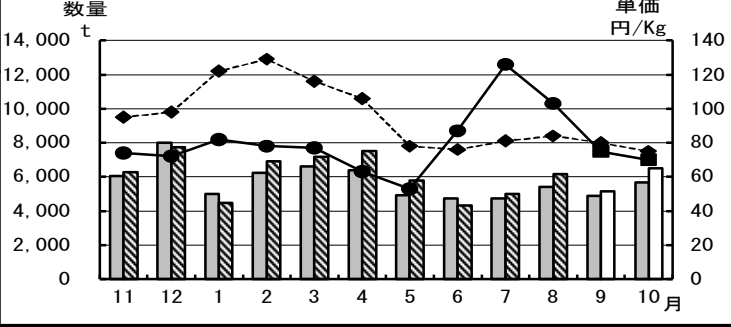
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	27年	3,321	359	361	394	330	高知 35%
	28年	3,405	399	388	391	418	栃木 19%
	29年	3,408	300	262	249	429	群馬 19%
	30年	2,804	436	391	465	450	茨城 12%
	元年	3,511	328	302	309	374	熊本 4%
	5ヵ年平均	3,290	362	339	357	399	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	3,300	390	400	390	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、栃木、群馬からの入荷が中心となる。高知の生育は概ね順調も、増量ペースはなだらか。関東産地は高温等の影響で草勢が弱く、入荷量、品質ともに落ち、切り上がり及早まるか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ト マ ト	27年	6,242	452	495	482	396	福島 14%
	28年	5,771	545	463	531	659	千葉 12%
	29年	6,169	398	400	409	385	北海道 12%
	30年	5,819	485	470	454	542	熊本 11%
	元年	5,963	453	555	389	408	青森 10%
	5ヵ年平均	5,993	465	476	452	475	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	6,100	410	420	410	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>福島、北海道などから千葉、熊本などへ産地の移行期を迎える。夏秋産地の切り上がり及早まり上旬は品薄か。千葉は前年より多いと見込まれ、熊本の台風被害は軽微も高温等により草勢回復が遅れ小玉傾向。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	27年	1,784	873	931	846	840	熊本 15%
	28年	1,531	989	942	951	1,081	北海道 15%
	29年	1,796	765	743	783	768	千葉 13%
	30年	1,810	855	857	876	831	茨城 13%
	元年	1,938	855	1,017	863	715	愛知 11%
	5ヵ年平均	1,772	864	898	861	838	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,000	810	750	850	830	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、北海道、千葉、茨城などからの入荷が中心となる。トマト同様に産地の移行期で、北海道は終盤となる。台風への懸念あるもシーズンが始まる西南暖地などからの入荷次第。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

9月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	27年	498	374	393	385	380	茨城 41%	
	28年	325	627	515	664	697	北海道 13%	
	29年	428	335	335	323	457	岩手 12%	
	30年	376	577	531	547	660	鹿児島 9%	
	元年	525	393	428	400	393	青森 8%	
	5ヵ年平均	430	445	432	453	493	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	410	400	400	400	400		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>茨城、北海道、岩手を中心に入荷する。北海道、岩手の夏秋作は終盤で、残量は概ね前年並か。後続産地の茨城、高知、宮崎に切り替わるが、台風の影響がなければ順調な入荷を見込む。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年並の見込み。</p>
	ばれいしょ	27年	2,987	104	111	109	98	北海道 100%
28年		3,218	146	155	152	141		
29年		2,545	93	96	91	91		
30年		2,661	112	121	107	107		
元年		2,586	85	84	85	84		
5ヵ年平均		2,799	110	116	114	107	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2年見通し		2,600	110	110	110	110		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>北海道からほぼ全量を入荷する。大玉傾向にあるが、玉付きが少ないため、平年並の入荷を見込む。貯蔵品が中心で、安定した入荷となる見込み。 入荷量は前年並で、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>	
たまねぎ		27年	6,501	73	80	77	73	北海道 99%
	28年	6,449	76	83	76	72		
	29年	6,339	72	73	72	72		
	30年	6,915	90	97	91	86		
	元年	5,684	75	75	79	75		
	5ヵ年平均	6,378	77	82	79	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	6,500	70	70	70	70		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>北海道からほぼ全量を入荷する。豊作基調で入荷ピークとなる。サイズはL大中心に入荷する。早生から中生まで生育は順調で、平年より作柄も良く、安定した入荷を見込む。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>

東京都中央卸売市場

9月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	27年	2,033	333	361	315	319	茨城 60%
	28年	1,799	545	438	584	591	岩手 23%
	29年	1,929	298	265	254	401	福島 7%
	30年	2,019	498	458	456	592	青森 3%
	元年	2,211	366	367	350	378	高知 3%
	5ヵ年平均	1,998	405	377	388	452	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,100	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、岩手からの入荷が中心となる。主力の茨城は着果不良により少なめの入荷に対し、終盤となる岩手は生育順調で平年以上の見込み。後半は西南暖地からの入荷が始まるも少なめで相場は安定か。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
白菜	27年	7,564	109	113	109	104	北海道 99%
	28年	7,584	155	155	159	152	
	29年	7,443	97	97	98	95	
	30年	6,822	117	121	118	111	
	元年	7,651	92	91	92	91	
	5ヵ年平均	7,413	114	115	115	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7,600	105	105	105	105	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。前年豊作の北海道は、今年は玉数は少ないものの肥大良好で大玉傾向。十分な出回りが続き、相場は安定と見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
たまねぎ	27年	10,916	78	81	77	76	北海道 97%
	28年	10,726	85	92	85	80	中国 2%
	29年	10,691	77	76	76	77	
	30年	10,302	101	102	101	101	
	元年	9,755	81	81	82	81	
	5ヵ年平均	10,478	84	86	84	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	10,000	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は生育、肥大ともに概ね良好で、収穫作業も進んでおり、不足感のない出回りが見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

9月18日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	27年	11,818	279	306	280	264	和歌山 19%
	28年	10,515	330	348	331	320	長野 17%
	29年	10,895	302	338	306	280	三重 12%
	30年	10,574	326	369	324	304	フィリピン 10%
	元年	10,078	329	369	331	306	熊本 9%
	5ヵ年平均	10,776	312	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	10,100	330	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん、りんご、かきなどが主な品目となる。夏場の天候不順で着色不良などの品質低下が懸念される品目もあるが、全体的に入荷量は前年並の見込み。りんごは高温による日焼け果、干ばつによる小玉傾向が見られるも、入荷量は前年並の見込み。入荷量と価格はともに前年並の見込み。						
み	27年	3,553	189	224	187	148	三重 41%
	28年	3,360	261	257	256	264	熊本 29%
	29年	3,124	241	262	240	235	和歌山 13%
	30年	3,246	250	260	252	248	静岡 9%
	元年	2,981	243	261	243	236	愛知 3%
	5ヵ年平均	3,253	236	252	235	225	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	3,100	250	260	250	240	
みか	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	三重、熊本、和歌山などから入荷する。8月の少雨による影響でやや小玉傾向にある。極早生の生産量が全国的にやや増加すると予想される。愛知の入荷量は前年を大幅に上回る見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。						
か	27年	2,322	219	253	222	208	和歌山 81%
	28年	1,900	263	286	254	268	岐阜 8%
	29年	2,002	228	254	221	225	愛知 7%
	30年	2,068	263	303	258	254	奈良 3%
	元年	1,913	243	272	235	244	三重 1%
	5ヵ年平均	2,041	242	273	237	239	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,950	250	270	240	240	
かき	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	和歌山を中心に岐阜、愛知などから入荷する。和歌山は潤沢な入荷が見込まれる。愛知は筆柿と次郎柿が入荷する。筆柿は生育順調。次郎柿は下旬から入荷し、夏の高温少雨の影響による小玉化が懸念される。入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに上回る見込み。			注：前年の6月、本年の5～6月は入荷なしにつき単価を0円/kgで表記			

東京都中央卸売市場

9月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	27年	47,454	282	302	281	265	和歌山 14%
	28年	42,602	328	352	322	315	青森 11%
	29年	44,293	298	326	299	274	長野 8%
	30年	41,391	330	360	327	305	熊本 8%
	元年	40,389	335	372	331	308	長崎 7%
	5ヵ年平均	43,226	313	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し	38,500	390	—	—	—		
実	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん、かき、なし、りんごを中心に入荷する。なしは4月の低温による着果不良で入荷が少ない状態が続き、引き合いは強い。りんごは各産地とも大きな気象被害なく順調で、平年並の入荷を見込む。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						
み	27年	15,265	199	211	196	189	熊本 25%
	28年	13,228	242	254	239	238	長崎 24%
	29年	13,594	204	231	206	183	愛媛 22%
	30年	12,976	237	251	236	227	佐賀 11%
	元年	11,691	221	238	221	209	和歌山 11%
	5ヵ年平均	13,351	220	236	219	208	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し	11,700	240	250	240	230		
か	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本、長崎、愛媛などから極早生中心に入荷する。残暑厳しく小玉傾向だが、糖度・食味は平年並から良好で引き合いもある。なお、九州産地について、9月上旬の台風の影響は小さい模様。入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり上回る見込み。						
か	27年	10,170	212	235	215	196	和歌山 53%
	28年	8,707	265	274	251	272	奈良 25%
	29年	8,952	226	241	213	227	新潟 6%
	30年	9,192	258	278	243	258	愛知 5%
	元年	8,410	247	266	231	245	福岡 3%
	5ヵ年平均	9,086	241	258	230	238	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し	8,600	270	280	270	260		
き	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	主に和歌山や奈良から刀根早生、平核無を中心に入荷する。各産地・品目で概ね順調な生育となり、果実全般に少ない中で引き合いも見込まれる。なお、気温の高い日が続く収穫は若干早いほか、小玉傾向。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						

切花・鉢花の10月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 9月29日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	27年	1,799	45	
		28年	1,628	83	
		29年	1,415	60	
		30年	1,468	67	
		元年	1,232	57	
	5カ年平均	1,508	62		
2年見通し	1,300	60			
概要	愛知、長野などから入荷する。高冷地産は終盤となり、愛知産が中心となる。業務の動きが不安定なため、一般の消費動向で相場が動きそう。				
小 ぎ	実績	27年	720	34	
		28年	621	53	
		29年	669	31	
		30年	765	39	
		元年	610	32	
	5カ年平均	677	38		
2年見通し	600	38			
概要	愛知、奈良中心の入荷。長野は終盤、10月上旬には終了予定。愛知、奈良に関しても出荷の山なく、少ない数量で推移しそう。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	27年	1,262	43	
		28年	1,305	46	
		29年	961	43	
		30年	1,351	41	
		元年	1,124	43	
	5カ年平均	1,201	43		
2年見通し	1,200	43			
概要	長野、北海道中心の入荷。愛知をはじめとする暖地の産地もやや前進傾向にあり、スタンダード中心に出荷が始まる。依然として一部輸入分の不安定さがあるため、単価は堅調に推移する見込み。				
か す み	実績	27年	89	151	
		28年	75	165	
		29年	100	120	
		30年	89	165	
		元年	85	146	
	5カ年平均	88	148		
2年見通し	90	145			
概要	福島、長野中心の入荷となるが、気温の低下に伴い、出荷量は落ちていく。中下旬には南西暖地産の出荷も始まるため、極端な品不足にはならない見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	27年	338	162	
		28年	310	182	
		29年	295	167	
		30年	324	161	
		元年	293	161	
	5カ年平均	312	166		
2年見通し	300	160			
概要	<p>オリエンタルは新潟、高知、宮崎、埼玉、北海道からの入荷。中下旬からは暖地作の出荷がまとまってきたようで、品薄感なく入荷しそう。LA、鉄砲についても上旬は多くないが、中旬以降は暖地作が始まり、極端な品薄感はないと見られる。</p>				
洋らん	実績	27年	543	69	
		28年	588	75	
		29年	471	64	
		30年	585	69	
		元年	406	73	
	5カ年平均	519	70		
2年見通し	400	75			
概要	<p>愛知、静岡、鹿児島の商品や輸入物が入荷する。輸入物、特にエア便を使用している商社は新型コロナウイルス感染症の影響があり、入荷は今年の3割減で推移しそうだ。</p>				
ばら	実績	27年	860	80	
		28年	833	86	
		29年	884	73	
		30年	834	75	
		元年	682	73	
	5カ年平均	819	77		
2年見通し	700	70			
概要	<p>愛知、岐阜、三重中心の入荷。気温低下と共に状態も上向き。輸入商品も始まり、入荷量も上向きに安定してくる見込み。</p>				
枝も	実績	27年	1,531	48	
		28年	1,567	50	
		29年	1,488	48	
		30年	1,442	56	
		元年	1,281	53	
	5カ年平均	1,462	51		
2年見通し	1,250	50			
概要	<p>長野、岐阜を中心に入荷する。長雨からの高温で一部の实物が落ち、葉物もシミなどの病気が発生しており、多くはないが、花会や花展など新型コロナウイルス感染症の影響で少なく、お稽古需要も減少しており、一部の関連花材は厳しい販売と思われる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	27年	16,989	975	
		28年	20,346	769	
		29年	16,932	883	
		30年	16,157	710	
		元年	15,430	831	
	5ヵ年平均		17,171	832	
	2年見通し		15,000	800	
概要	<p>入荷量は減少か。原木の輸入減少が大きな要因となっている。サイズ別では8号・10号中心の入荷になり、5号未満・4号は特に品薄になる見込み。 前年10月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（56.0%）、2位鹿児島（18.6%）、3位三重（6.3%）となっている。</p>				
シヤコバサボテン	実績	27年	47,667	372	
		28年	33,336	420	
		29年	42,055	396	
		30年	39,614	400	
		元年	34,347	421	
	5ヵ年平均		39,404	399	
	2年見通し		34,000	412	
概要	<p>全体的にロスが少ない為、入荷量は前年並か。サイズ別では5号未満の小鉢中心の入荷となる。荷主によっては注文が集中する事が予想されるので、6号以上の競売出荷が減少する見込み。 前年10月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（80.3%）、2位埼玉（16.9%）、3位栃木（2.8%）となっている。</p>				
シクラメン	実績	27年	641,497	184	
		28年	672,626	184	
		29年	616,535	174	
		30年	578,858	188	
		元年	531,062	178	
	5ヵ年平均		608,116	182	
	2年見通し		530,000	177	
概要	<p>入荷量は例年並か。ガーデンシクラメンは9月のお彼岸過ぎを皮切りに出荷が増えていく見込み。4号以上のシクラメンは昨年と比べ生育は順調だが、今後の残暑や台風などの気象状況が気になる。出荷はガーデンシクラメンと同様に9月下旬頃から徐々に始まる見通し。 前年10月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野（33.5%）、2位愛知（28.3%）、3位北海道（10.8%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	27年	9,082	1,937	
		28年	11,112	1,549	
		29年	2,902	1,826	
		30年	2,844	1,757	
		元年	3,976	1,662	
	5カ年平均	5,983	1,728		
	2年見通し	3,800	1,632		
概要	<p>入荷量は前年よりやや少なめか。山上げ場では比較的气温が下がっており、順調に生育している。本年は花立ちが良い反面、開花が揃わず出荷時期は例年より遅れる見込み。その為、10月下旬での出荷分は減少の見込み。シーズン初旬の為、開花具合の査定をよく検討して出荷していただきたい。</p> <p>前年10月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（83.9%）、2位高知（5.6%）、3位静岡（4.0%）となっている。</p>				
カラッコ	実績	27年	51,897	176	
		28年	43,730	202	
		29年	39,353	180	
		30年	42,314	196	
		元年	34,413	191	
	5カ年平均	42,341	189		
	2年見通し	33,000	191		
概要	<p>岐阜の生産者が生産を辞めた為、入荷量は前年より若干減か。ここ数年残暑が激しく、開花遅れやロスが目立つ。3.5号ポット及び5～6号の八重咲で特にMI X植えの引き合いが強く、競売にかかる割合が少なく為価格が安定している。岐阜が主となる一重の2.5号、4号サイズは、生産者さんが1戸減った事が影響し価格は安定すると思われる。</p> <p>前年10月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（55.9%）、2位岐阜（33.4%）、3位茨城（7.2%）となっている。</p>				
パンジー	実績	27年	712,658	52	
		28年	613,807	52	
		29年	553,234	46	
		30年	563,988	54	
		元年	528,529	48	
	5カ年平均	594,443	51		
	2年見通し	550,000	50		
概要	<p>入荷量は前年より若干の増加となるか。暑さによる影響を考慮して、一部作業を遅らせている動きもあるが、概ね例年並みの作付けのようである。</p> <p>前年10月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（33.4%）、2位奈良（11.1%）、3位福井（9.5%）となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.568
令和2年10月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434